

(軌道工事)

## 内 容 説 明

### 1. 軌道こう上（中線） L=56.4M

- 軌陸八頭による総つき固め
- 道床締固め、道床整理
- 誘導員にかえ軌陸作業責任者の配置
- 軌陸車積卸時に交通整理員の配置を考えている
- 軌陸八頭による軌道こう上後日、人力によるむら直し L=52.5M
- 同区間のむら直し 2 回目 L=52.5M

### 2. 軌道整備（下り本線） L=20.5M

- 人力によるむら直し L=20.5M
- 道床締固め、道床整理

### 3. 道床バラスト散布 V=7.0 m<sup>3</sup>

- T ショベルによるミニホキ車にバラスト積込を考えている  
(高岡駅構内) V=7.0 m<sup>3</sup> (バラスト業材)
- 越中大門駅構内中線にてミニホキ車からのバラスト取り卸し
- 道床整理

### 4. 木まくらぎ（並）撤去 1本

- 並まくらぎ撤去 1本
- 並まくらぎ運搬（現場⇒処理場）

**5. 木まくらぎ（継目・両切）挿入 1本**

- 木まくらぎ、附属品運搬（投入）（業材）
- 木まくらぎ（継目・両切）挿入
- 両隣含め3本のつき固めを考えている
- 道床整理、道床締固め

**6. モーターカー運転 1回**

- 保守用車通告書の作成、関係個所との打ち合わせ
- 保守基地線でのMC点検
- 高岡駅構内から越中大門駅往復の保守用車監督、モーターカー運転

**7. 産業廃棄物処理（木材） 1本**

- 木まくらぎ（並）の産廃処理

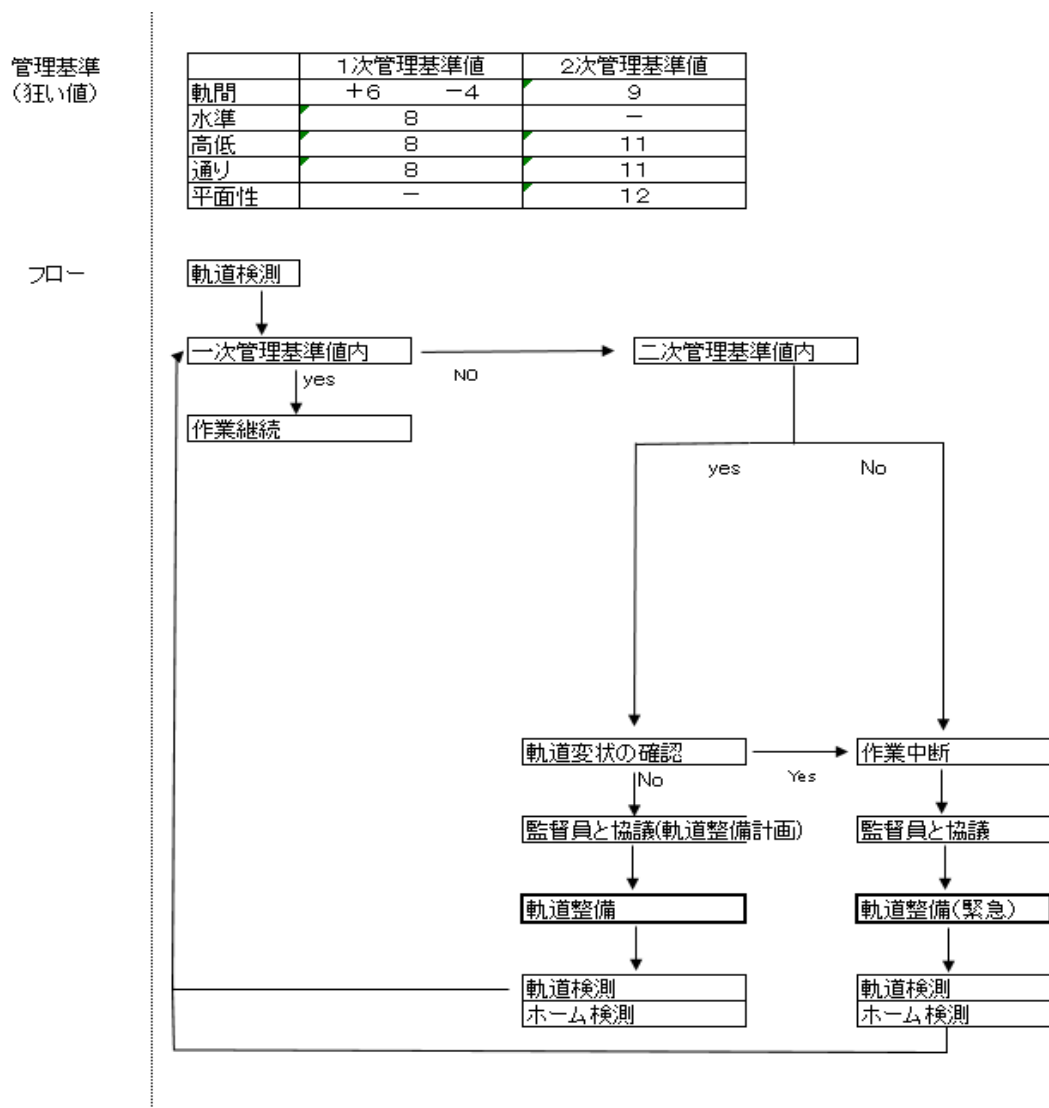
**8. 軌道監視（昼） 28回**

- 上りホーム上で施工する鋼管杭10本打ち込み時の軌道変位監視
- 軌道狂い測定は、高低、通り、軌間、水準の測定を考えている
- 検測箇所は、上本線、中線 230 k 070m～230 k 095m間の6箇所を  
3回/日以上検測する

**9. 軌道監視（夜） 20回**

- 下りホームで施工する鋼管杭3本と11本打ち込み時の軌道監視
- 軌道狂い測定は、高低、通り、軌間、水準の測定を考えている

- 検測箇所は、上本線、中線、下本線 230 k 085m～230k120m 間の 8 箇所  
と上本線、中線、下本線 230k070m～230k095m 間の 6 箇所を 3 回/日以  
上検測する
- 軌道検測管理基準フローチャート



以上